

# 相模原市DX推進計画(案) 【概要版】

令和8年度-令和11年度

# はじめに

## 計画の位置付け

本計画は「デジタルで変わるみんなのさがみはら条例」の目的を実現するため、現行の「第2次相模原市ICT総合戦略」の内容を発展させ、相模原市総合計画の部門別計画として定めます。

相模原市総合計画

デジタルで変わる  
みんなのさがみはら条例

第2次相模原市ICT総合戦略

相模原市DX推進計画

## 計画期間

本計画は令和8年度から令和11年度までの4か年計画です。

令和8年度 令和9年度 令和10年度 令和11年度

相模原市DX推進計画

## 計画の構成

本計画は、取組の方向性や目標などを定めた「本編」と事業及びKPIを定めた「事業集」(別冊)から構成されます。

本編

取組の方向性や目標を  
定める

現状と課題  
本市が目指す姿  
ビジョン・取組方針  
施策 など

事業集

スケジュールや目標を  
具体化

実施事業  
重要業績評価指標  
事業の進捗管理

## 計画策定の背景

本市では、DXを推進するため、令和7年4月に「デジタルで変わるみんなのさがみはら条例」を施行しました。当該条例に定める目指す姿を実現するため、取組の方向性や内容等を定めた計画を策定します。

### 条例の目指す姿

「生活の利便性の向上を図り、もって時間と心にゆとりを持ち自分らしく幸せに暮らせる社会」

### 条例の基本理念

- (1) 誰一人取り残さないことを前提
- (2) 市及び市民等の多様な主体が連携
- (3) デジタル技術の進展、社会情勢の変化等に応じた取組を実施
- (4) 個人情報及び個人のプライバシーの保護に配慮

### 条例策定の 背景

- ・本市の人口減少・少子高齢化の進展
- ・労働力人口の減少、サービス維持が困難になるなどの社会課題が顕在化のおそれ

デジタル技術の活用により、社会課題の解決を図るため条例を制定

## デジタル技術による改革

本市の現状として、少子高齢化など様々な課題があります。今後は様々な分野にデジタル技術を活用し、地域課題の解決を図るため、DX(デジタル・トランスフォーメーション)に取り組めます。行政サービスをより住民本位の視点で変革することで、住民一人ひとりが自分らしく幸せに暮らせる社会の実現を目指します。

相模原ICT総合戦略  
第2次相模原ICT総合戦略

相模原市DX推進計画

デジタイゼーション

デジタライゼーション

デジタル・トランス  
フォーメーション

業務本位

住民本位

# DXで目指す姿

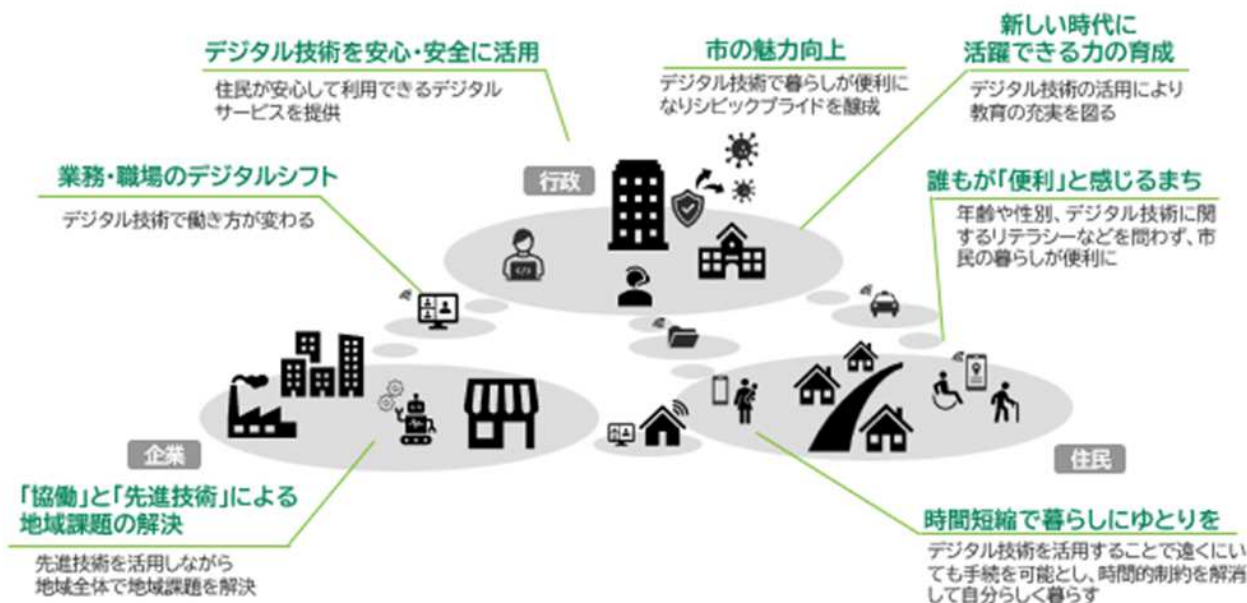
## 本市が目指す姿

本市は、「自分らしさをデジタルで創るまち、さがみはら」をスローガンに、「生活の利便性の向上を図り、もって時間と心にゆとりを持ち自分らしく幸せに暮らせる社会」を目指します。

自分らしさをデジタルで創るまち、さがみはら

### 【相模原市の目指す姿】

「生活の利便性の向上を図り、もって時間と心にゆとりを持ち自分らしく幸せに暮らせる社会」



## 「現状と課題」に対する対応方針

本市の現状と課題を踏まえ、目指す姿を実現するために、以下の方針で解決に取り組んでいきます。

現状と課題		
少子高齢化への対応	ベッドタウンとしての役割	中山間地域の持続可能な地域・社会づくり
対応方針と本計画の取組		
デジタル技術を活用し、効率的で質の高いサービスを提供	柔軟な行政サービスで、ベッドタウンとしての暮らしやすさを向上	デジタル技術で便利な生活と、人と自然が共生する魅力的な地域を創出
✓ デジタル技術を活用して業務の効率化や行政サービスの代替を図り、住民サービスの質の向上につなげます。	✓ 行政サービスのデジタル化により、いつでもどこからでもサービスを利用できる環境を構築します。	✓ デジタル技術を活用することで、交通や物流、情報伝達、防災など中山間地域の様々な課題を解決します。

# 基本方針

## アプローチの観点

目指す姿を実現するために、「暮らしのDX」、「行政のDX」と「DX推進基盤の整備」の3つのビジョンの実現に向けて取り組むこととし、それぞれについて、次の観点でアプローチします。

### 暮らしのDX

- ・ 市民の目線で行政サービスの利便性向上を図ります。
- ・ 行政が主体となり、デジタル技術を活用し、交通、災害などの地域の課題を解決し、便利で暮らしやすいまちを目指します。

### 行政のDX

- ・ デジタル技術で市役所の業務効率化を図り、捻出した時間で行政サービスの利便性向上に取り組めます。

### DX推進基盤の整備

- ・ DX推進に向けた基盤を整備します。
- ・ 具体的には、市民が安心してデジタルサービスを利用できるようセキュリティ確保に努めます。また、デジタル人材の育成にも取り組めます。



オンライン申請や  
事前入力で時間を節約！



作業の自動化で業務を効率化し  
住民サービスの時間を確保！



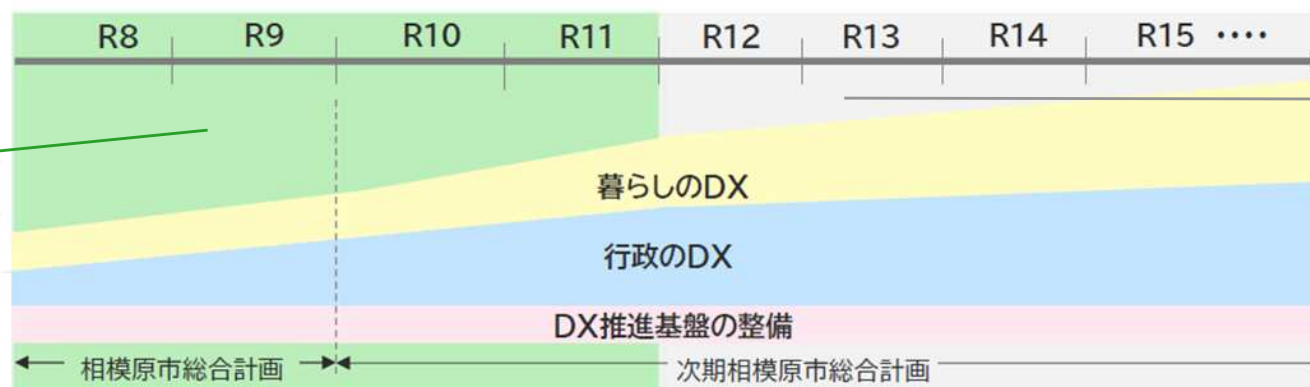
デジタル技術を活用する人材が増え  
行政サービスの質が向上！

## ロードマップ

本計画期間では「行政のDX」に先行して取り組み、令和10年度を目安に「暮らしのDX」に向けた取組を加速させます。

### 短期的な取組(R8-11)

- 行政のDXを中心に行政サービスの利便性向上と業務効率化を推進
- 暮らしのDXを加速するための体制等の整備



### 中長期的な取組(R12-)

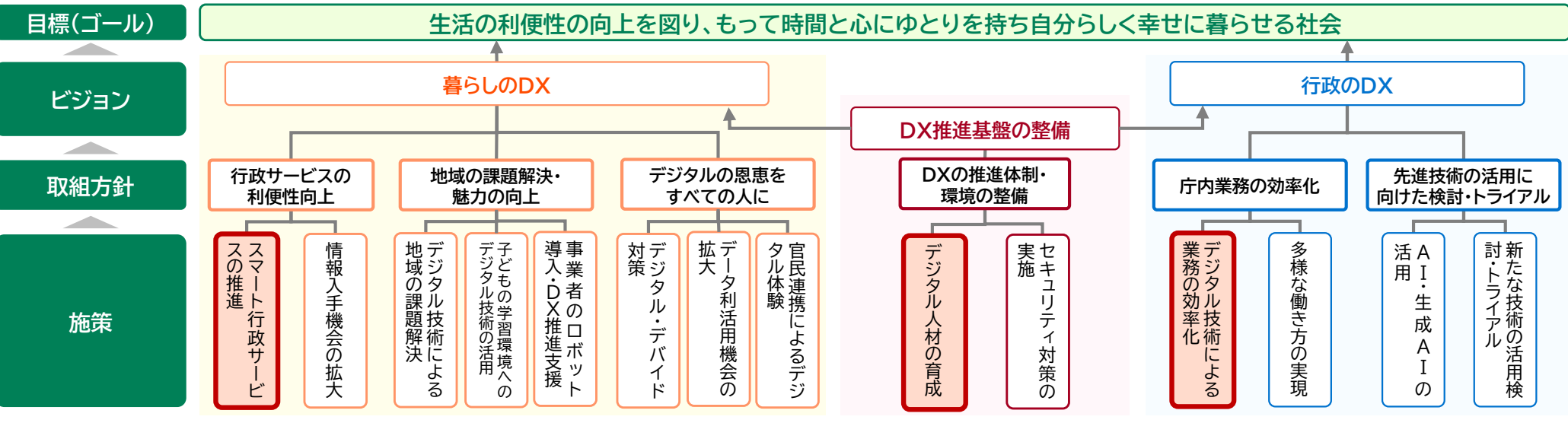
- 蓄積したノウハウや業務効率化により生み出された時間を活用し、地域へのデジタル技術の実装による課題解決など、暮らしのDXに本格的に着手

# 施策と重点施策

## 計画の体系と構成

本計画の体系及び構成について、次のとおりとしています。本計画期間で優先的に取り組む施策として、各ビジョンごとに「重点施策」を設定しています。

赤枠内は重点施策を示す



## 主な施策

各ビジョンごとの重点施策の詳細は次のとおりです。

**暮らしのDX** スマート行政サービスの推進

- 行政サービスの利便性向上のためオンライン申請の対象手続を拡充します。
- また、併せて手数料等の支払についても、キャッシュレス決済や、電子納付の導入など、利便性が向上するよう取り組みます。

【成果指標】オンライン申請対応率

現状値	R8	R9	R10	R11
45.3%	49.0%	53.0%	57.0%	60.0%

**行政のDX** デジタル技術による業務の効率化

- 各種業務にシステムやRPA等のデジタルツールを導入することで、作業時間を削減し、住民対応など注力すべき業務に時間を配分します。

【成果指標】RPA新規導入事業数(累計)

現状値	R8	R9	R10	R11
—	2事業	5事業	8事業	12事業

**DX推進基盤の整備** デジタル人材の育成

- 本市におけるDXの推進体制を構築するに当たり、各所属において中心的役割を担う「DX推進リーダー」の育成に取り組みます。

【成果指標】DX推進リーダー任命者数(累計)

現状値	R8	R9	R10	R11
—	10人	20人	30人	50人